

第84回都市対抗野球大会 東京都二次予選

東京ガス											第4代表決定戦 敗者復活1回戦											明治安田生命										
											2013/6/3																					
											大田スタジアム																					
		打	安	点	振	球												打	安	点	振	球										
9	建部	3	1	1	1	0																										
7	濱(政)田	4	3	4	0	1																										
3	黒田	3	1	1	0	2																										
D	佐々木	4	0	0	2	1																										
8	坂井	4	0	0	1	1																										
2	山内	4	0	1	2	1																										
5	鮫島	3	1	2	1	2																										
6	遠藤	3	1	1	0	1																										
4	藤井	3	2	1	0	0																										
H	小林	0	0	0	0	1																										
計		31	9	11	7	10																										
投手成績																						投手成績										
		回	打者	安	振	球	点	責	【特記事項】											回	打者	安	振	球	点	責						
石川		7	25	4	2	0	0	0																								
吉原		2	5	3	1	0	1	1																								
																						計						0	0	0	0	0

もう負けられない1戦の先発を任されたのはエース石川。石川は序盤から伸びのある真っ直ぐを主体に打たせてとるピッチングを展開し、攻撃の流れを作る。その打線は一回裏、先頭濱田(政)が四球、黒田がレフト前ヒット、佐々木も四球を選び、満塁とする。すると山内、鮫島、遠藤の連続四死球で3点、さらには藤井のレフト前ヒットでこの回一挙に4得点。さらに四回裏の攻撃、藤井のレフト前ヒットから建部がきちりと送りバントを決め、一死ランナー二塁。ここで濱田(政)が右中間を破る三塁打を放ち、1点、さらには黒田の打球はショートゴロだったが、三塁ランナー濱田(政)の好判断でホームイン。6-0とする。六回裏にも好調の濱田(政)がタイムリー二塁打を放ち、2点。先発の石川は七回を4安打0失点に抑え、八回から2番手吉原へスイッチ。吉原は連打を浴びるが、後続を断ち切り、1失点。すると八回裏、代打小林が四球で出塁すると、建部がセンターの頭を越える三塁打、濱田(政)が2本目となる二塁打を打ち、2点。そして満塁のチャンスに鮫島が押し出しの四球を選び、大会規定による八回コールド勝ちをおさめ、第4代表決定戦へ駒を進めた。